



自分の時計

人は心の中に自分の時計を持っている

佐藤理事長ご挨拶/2026年度担当医紹介

トピックス

- 回復期ワーキングチームの取り組み
- 患者サービス向上ワーキングチームの取り組み
- 甲州リハ・サポツアーセンター
- 脳卒中リハビリテーションについて
- リハビリ体操
- 管理栄養士おすすめレシピ



日本医療機能評価機構認定病院 高度・専門機能リハビリテーション(回復期)認定病院

医療法人 銀門会

甲州リハビリテーション病院

佐藤理事長ご挨拶



理事長

佐藤 吉冲

平素より、医療法人銀門会ならびに甲州リハビリテーション病院の運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年も当法人は、地域の皆様に安心して医療・介護を受けていただけるよう、「持続可能で質の高い医療・介護提供体制の構築」に取り組んでまいります。

当法人はこれまで、医療・介護・リハビリテーションを一体的に提供し、急性期から在宅に至るまで切れ目のない支援に努めてまいりました。今後は「グループ完結型から地域完結型へ」を掲げ、関係機関の皆様と連携しながら、地域全体で支える仕組みづくりを一層推進してまいります。

昨年、当法人は創立 60 周年を迎えることができました。これまで賜りましたご支援への感謝を胸に、「新時代の創造」に向け、今後も一層の研鑽と挑戦を重ねてまいります。

2026 年度は「100 年続く組織体をめざして」をテーマに、人材の確保・育成ならびに財政基盤の再構築を柱として取り組んでまいります。多職種連携の強化、地域リハビリテーションの推進、DX による業務改善等を通じ、法人一丸となって推進してまいります。

甲州リハビリテーション病院におきましては、診療報酬改定の動向も踏まえ、「量から質へ」を基本方針として、高機能型回復期リハビリテーション病院としての機能強化を図ってまいります。

回復期リハビリテーション病棟では、アウトカムを重視し、在宅復帰支援ならびに重症患者への対応力の向上に努めてまいります。また、高次脳機能障害支援、排尿自立支援等の専門的な取り組みにつきましても、引き続き充実を図ってまいります。

さらに、地域においては、フレイル予防、地域リハビリテーション活動等を通じ、医療にとどまらず生活を支える取り組みを強化してまいります。住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる体制づくりに、引き続き尽力してまいります。

今後とも「心をこめ 保健・医療・福祉で地域に貢献」という理念のもと、職員一同、地域に信頼される医療・介護の提供に誠心誠意努めてまいります。引き続き、格別のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。



甲州リハビリテーション病院 医師紹介

①診療科 ②専門分野 ③資格等

理事長 院長

佐藤 吉冲 さとう よしおき

- ①内科、リハビリテーション科
- ②循環器内科、リハビリテーション科
- ③日本内科学会 総合内科専門医
日本循環器学会 循環器専門医
日本リハビリテーション医学会
リハビリテーション科専門医・指導医
日本医師会 認定産業医

常務理事 副院長

市瀬 祐一 いちのせ ゆういち

- ①内科
- ②神経内科
- ③日本内科学会 認定内科医

副院長 診療部長

安藤 隆 あんどう たかし

- ①整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科
- ②骨粗鬆症、骨軟部腫瘍、運動器リハビリテーション
- ③日本リハビリテーション医学会
リハビリテーション科専門医
日本整形外科学会 整形外科
専門医/指導医、認定リウマチ医、認定スポーツ医
臨床研修指導医
日本感染学会
インфекションコントロールドクター

甲州ケア・ホーム施設長

小林 史和 こばやし ふみかず

- ①内科
- ②神経内科
- ③日本内科学会 総合内科専門医
日本神経学会 神経内科専門医
日本認知症学会 専門医・指導医
日本リハビリテーション医学会 認定臨床士

リハビリテーション部長

鈴木 雅也 すずき まさや

- ①内科
- ②消化器内科 画像診断
- ③日本医学放射線学会 放射線診断専門医
日本内科学会 総合内科専門医
日本リハビリテーション医学会 認定臨床医
日本医学会 認定産業医

医長

岩崎 宏 いわさき ひろし

- ①内科、リハビリテーション科
- ②循環器内科、リハビリテーション科

中島 育昌 なかじま いくまさ

- ①整形外科、リハビリテーション科
- ②リハビリテーション全般
骨粗鬆症およびそれに伴う骨折・骨代謝
- ③日本リハビリテーション医学会
リハビリテーション科専門医・指導医
日本整形外科学会 整形外科専門医
日本医師会 認定産業医

角田 伸一 つのだ しんいち

- ①内科
- ②神経内科、脳血管疾患、パーキンソン病
- ③日本神経学会 神経内科専門医
日本リハビリテーション医学会 認定臨床医

川口 章夫 かわぐち あきお

- ①内科
- ②総合内科
- ③日本内科学会 総合内科専門医
日本内科学会 認定内科医

佐藤 英治 さとう えいじ

- ①内科
- ②脳腫瘍
- ③日本神経外科学会 脳神経外科専門医

杉山 篤すぎやま あつし

- ①内科、リハビリテーション科
- ②総合内科、循環器内科(高血圧・不整脈・心不全)
- ③日本内科学会 総合内科専門医
日本循環器学会 循環器専門医
日本不整脈心電学会 心電図検定1級
日本心不全学会 HEPT
(心不全緩和ケアトレーニングコース)修了

小野 萌 おの もえ

- ①内科、リハビリテーション科

小野 秀隆 おの ひでたか

- ①整形外科
- ②股関節、脊椎
- ③日本整形外科学会 整形外科専門医
股関節学会、脊椎脊髄病学会

■外来非常勤医師紹介

吉田 明史	甲州リハビリテーション病院 整形外科
加藤 貴之	藤原整形脳神経 リハビリクリニック
守屋 修二	甲州市立勝沼病院 整形外科
須藤 洸司	山梨大学医学部附属病院 循環器内科
花形 圭祐	山梨大学医学部附属病院 整形外科

■非常勤医師紹介

泌尿器科	武田 正之	神経内科	森嶋 悠人
耳鼻科	宮田 政則	皮膚科	木下 真直
精神科	小林 慶太	呼吸器内科	大久保修一 中澤 篤人
リハビリテーション科	渡邊 修	歯科	小澤 章
脳神経外科	吉岡 秀幸 橋本 幸治		羽中田 功 内田 祥
	埴原 光人 風間 宙文		新藤 広基 三神 仁

「回復期ワーキングチーム」の取り組み

～質の高いリハビリテーションを目指して～

甲州リハビリテーション病院では、患者さんとそのご家族に、質の高いリハビリテーション医療を提供するため、専門知識を持ったスタッフによる「回復期ワーキングチーム」を結成しています。専門職が互いの強みを活かし病院全体のリハビリテーションの質向上と、患者さんの在宅復帰に向けた支援を牽引しています。

チームを構成する3つの専門職

当チームは、以下の3つの専門資格・役職を持つスタッフが中心となり、それぞれの専門性を活かして活動しています。

回復期リハビリテーション 認定看護師

患者さんの「できる能力」を最大限に引き出し、日常生活動作（ADL）の向上と退院後の生活を見据えた質の高い看護ケアを提供する専門家です。

回復期セラピストマネジャー

理学療法・作業療法・言語聴覚療法部門を包括的にマネジメントし、各セラピストの技術指導やリハビリプログラムの質を総合的に管理します。

認定社会福祉士

高度なソーシャルワークの知識と技術を持ち、退院に向けた環境調整や、患者さん・ご家族の心理的・経済的な課題に対する支援を行う専門家です。

チームの活動の柱（3つの取り組み）

① 家族教室の企画・開催

退院後の生活や介護に対するご家族の不安に寄り添うため、毎月様々なテーマで「家族教室」を主催しています。病気や障害への理解を深めるための知識の提供だけでなく、実際の介助技術（オムツの当て方や移動の支援など）の体験、介護保険サービスの学習、高次脳機能障害の理解などを通して、在宅生活に向けた準備をサポートします。



② 「甲州リハビリテーション病院 リハビリテーション・ケア10か条」の啓発

当院が掲げる独自のリハビリテーション・ケアの指針「10か条」を全職員に深く浸透させるための啓発活動を行っています。これにより、職種を問わず全てのスタッフが同じ理念を共有し、統一された質の高いアプローチを患者さんに提供できる体制を構築しています。

③ 院内ラウンドによる質の向上

チームメンバーが定期的に病棟を巡回（ラウンド）し、実際のケアやリハビリテーションの実践状況を確認します。現場のスタッフへの直接的な指導やアドバイスを行うことで、業務の改善を図り、病院全体のリハビリテーション医療の質を継続的に底上げしています。

これからも、チーム医療の力を最大限に発揮し、
患者さんにご家族の笑顔のために邁進してまいります。

改善に向けての取り組み

当院において1階、各階に設置しておりますご意見箱で頂いたご意見や、年に1回患者さんやご家族にご協力いただき、「満足度調査」を実施した中で頂いたご意見を元にサービスの向上に努めております。

少しでも入院生活を快適に過ごしていただくために、患者さんやご家族のご要望に添えるように取り組んだ内容について、ご紹介致します。

面会時間の変更

以前は14～16時の間の30分以内となっていましたが、現在は緩和されています。

今後も、感染状況により、面会内容の緩和、変更や中止、または事前予約制等となる場合がございます。最新の情報については、ホームページをご確認いただくか、お電話にてお問い合わせください。

引き続き感染状況に合わせた対策を継続して参りますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



改善中の取り組みのご紹介



『受付の場所が分かりにくい』というご意見から、案内の看板を設置いたしました。



『トイレの個数が少ない、環境が良くない』というご意見から、病棟のトイレを心地よく利用できるように現在、対応しております！

満足度調査 結果につきましてはこちらをご覧ください



院長から皆様へ

毎年貴重なご意見を頂きありがとうございます。昨年度頂いたご意見を真摯に受け止め各部署での対応を検討しております。とりわけトイレの環境につきましては、早急対応案件としまして、棚の設置・自動開閉ゴミ箱の設置・中仕切りなど改善検討しております。今後も継続した環境整備に努めて参ります。

上記内容以外にも「入院中の過ごし方」「入院に際してのご案内」などを記載した『入院のご案内』を改訂致しました。入院後の生活を快適に過ごして頂き、日々のリハビリテーションに励んで頂けますように今後も取り組んで参ります。

今後も皆様のご協力とご理解を頂きたく存じます。

病院長 佐藤 吉冲

福祉のまちづくりへの挑戦



甲州リハ・サポツアーセンター

私たちが目指すもの

私たちは、「福祉のまちづくり」をテーマに、人と人が支えあい、共に生きる地域のかたちを目指しています。医療法人 銀門会が目指すのは、単なる「治療の場」としての病院ではありません。障がいの有無や年齢に関わらず、誰もが地域の一員として尊重され、安心して暮らせる社会です。旅を通じて得られる「つながり」や「笑顔」を地域に還し、すべての人が「やさしさ」でつながる街を育てていきます。

その取り組みのひとつが、ユニバーサルツーリズムです。

「旅に出たい」「もう一度あの場所へ行きたい」という思いには、医療にも勝る力があります。

ユニバーサルツーリズムとは

年齢や障がいの有無に関わらず、すべての人が楽しめる旅行のことです。

バリアフリーな環境整備だけでなく、一人ひとりのニーズに応じたきめ細やかなサポートが必要です。

私たちは、リハビリ専門職の視点から、移動・入浴・食事など日常生活動作に不安のある方でも、安全に快適に旅を楽しめるよう、トータルでサポートいたします。



私たちにできること(4つの柱)



人

医療・介護の専門職が旅行に同行し、入浴・移動・食事などを専門的な視点からサポートします。
身体に不安のある方でも、安心して旅を楽しんでいただけます。



育成

観光事業者さま向けの実践的な研修を実施します。
ユニバーサルツーリズムの理解を深め、人材育成を通じて地域全体のホスピタリティー向上に貢献します。



環境

必要な福祉用具の選定から導入までをサポートします。
プロの視点からご本人の身体状況に適した用具をご提案し、安心・安全な環境づくりをサポートします。



相談

プロの視点から、宿泊施設や観光施設の環境を詳細に調査し、改修や代替用具の活用などあらゆる角度からバリアスのご提案をします。



甲州リハ・サポHP



UT紹介動画

【問い合わせ先】甲州リハ・サポツアーセンター担当:晴山・保坂

脳卒中後の「食べる」をあきらめない

当院の摂食嚥下リハビリテーション

当院では、県内最多となる23名の言語聴覚士が在籍し、脳卒中後の「食べる」「話す」「伝える」を支えるリハビリテーションに力を入れています。特に、摂食嚥下リハビリテーションや失語症リハビリテーションを強みとして、専門的な支援を行っています。

当院の摂食嚥下リハビリテーションのご紹介

脳卒中の後遺症による「うまく食べられない」「飲み込みにくい」というお悩みに寄り添い、当院では専門的な摂食嚥下リハビリテーションを行っています。磁気刺激機器「パスリーダー」をはじめとする専門機器を活用し、一人ひとりの状態に合わせた最適なリハビリを提供しています。経鼻経管栄養や胃ろうを使用されている方へも、多職種による嚥下専門チームが全力でトータルに支援します。

私たちが大切にしているのは、「早期の経口摂取」のその先にある、
「誰と、どこで、どんな食事をしたいか」という「その人らしい生活」です。
退院後も、いつまでもご自身のお口から食べる喜びを感じていただけるよう、
私たちはこれからも支え続けます。

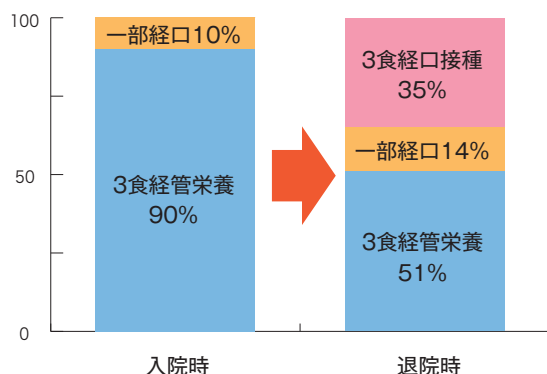


PATHREADER(パスリーダー)

【PATHREADER (パスリーダー)】

抹消神経に磁気刺激を与え、筋肉の収縮を誘発し、筋力の向上を図る機器です。電気刺激と比べ痛みや不快感が少ないです。

脳卒中等により嚥下関連筋の筋力低下のある方が対象となります。



2025年度 経管栄養患者さんの改善状況

【2025 年度 経管栄養患者さんの改善状況】

当院では、専門的な摂食嚥下リハビリテーションを行うことで、経管栄養が必要だった患者さんの多くが、お口から食べる力を取り戻しています。

入院時に「3食とも経管栄養」だった患者さんのうち、退院時には約半数の方が、お口から食事を摂取できるようになりました。

※経管栄養とは、胃まで入った管から栄養や水分を入れる方法です。

当院はリハビリテーション専門病院です
患者さんが『その人らしい生活』に戻れるよう専門スタッフが
サポートします

ご本人の「もう一度できるようになりたい」という想いと、
ご家族の「安心して家に帰って欲しい」という願いを支えます。

回復期リハビリテーション病棟「入院料 1」のご案内

～専門チームが、あなたらしい生活への復帰をサポートします～

当院の「回復期リハビリテーション病棟」は、病気やけがの治療を終え、ご自宅での生活に戻ることを目指した専門病棟です。その中でも、当院は国が定める高い基準をクリアした「入院料 1」を取得しています。365 日のリハビリと多職種によるチーム医療を実践しています。





背筋ピンで若返り体操！！

良い姿勢を維持するためには、背中やおなかの筋肉が良い状態であることが大切です。今回は、背筋と腹筋のストレッチをご紹介します。

1 背筋のストレッチ

10回を目安に行いましょう



①両手を前に伸ばし、
背中を丸めていきます

②手を前に伸ばし切ったところで10秒間止めます

POINT 肩甲骨・背中が伸びていることを感じましょう！

2 胸・腹筋のストレッチ

10回を目安に行いましょう



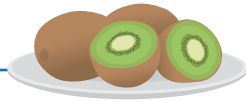
①両手を頭の後ろに倒していきます

②背中を背もたれにつけ、胸を反らしていきます

POINT 胸・腹部が伸びていることを感じましょう！

腸内環境を整えるメニューのご紹介🍴

キウイとヨーグルトの スムージー



所要時間

3分

1人前:180kcal
タンパク質:4.6g

キウイを冷凍したほうがおいしく出来ます!
冷凍庫で約1ヶ月保存可能☆



【材料】(1人前)

ゴールドキウイ 1個
ヨーグルト 100g
オリゴ糖 大さじ1

作り方

- 1 キウイは皮をむいて半分に切り、冷凍保存袋に入れて冷凍しておく
- 2 ミキサーまたはブレンダーに材料をすべて入れて、なめらかになるまで攪拌する
- 3 コップに移して完成!

★アレンジ★

さっぱり飲みたい場合は、
ヨーグルト→牛乳や豆乳に
代えるのも◎



★栄養のポイント★

オリゴ糖はビフィズス菌などの善玉菌の栄養源になり、腸内環境を整えるので、便秘解消に効果あり!





今年度は甲州リハビリテーション病院には21名、甲州ケア・ホームには1名、総勢22名の新入職員が入职しました。

真新しいユニフォームに身を包んだ新入職員たちは、期待と緊張の中、社会人としての第一歩を踏み出しました。新人研修を終え、現在はそれぞれの部署で先輩職員の指導のもと業務に励んでいます。新たな仲間とともに、今後もより良い医療・介護サービスの提供に努めてまいります。



こちらでも随時情報発信しています。ぜひご覧ください！



ホームページ



Facebook



Youtube



Instagram

医療法人 銀門会 甲州リハビリテーション病院
〒406-0032 山梨県笛吹市石和町四日市場 2031
TEL:055-262-3121(代) FAX:055-262-3727

入院相談専用FAX／055-262-8190
E-mail : koshu@krg.ne.jp

甲州リハ 検索

■ 甲州リハビリテーション病院の理念

私たちは、患者さん一人ひとりのより豊かな人生のために、質の高いリハビリテーション医療を提供し、地域リハビリテーション活動に貢献します。

■ 甲州リハビリテーション病院の基本方針

1. 患者さんを中心とした、質の高いチーム医療を実践します。
2. 患者さんが住み慣れた地域で安心して暮らせるように、地域リハビリテーション関係者との連携を実践します。
3. 患者さんの立場を尊重し、誠実な仕事を実践します。
4. 専門知識と技術の向上に励み、安全で信頼される医療・福祉サービスを実践します。

編集後記

新緑がまぶしく、風の心地よさに思わず足を止めたくなる季節になりました。忙しい毎日のなかでも、ふと見上げた空や道端の草花に初夏の訪れを感じることがあります。今号では、当院のリハ・サポーターセンターのご紹介をさせていただきました。年齢や障がいの有無に関わらず、すべての人が旅行を楽しむことは出来る、安全に快適に旅を楽しめるよう、サポートいたします。旅を通じて暮らしに少しでも彩りを添えられましたら幸いです。爽やかな初夏の日々をお過ごしください。

甲州リハビリテーション病院 「院内だより」171号

自分の時計
2026年夏号

発行：(医) 銀門会
甲州リハビリテーション病院
編集：2026年度広報委員会
印刷：株オズプリンティング